

意見交換会開催結果概要

- 1 開催日時 平成26年11月13日（木）
- 2 時 間 開会 午後7時～ 閉会 午後8時38分
- 3 場 所 西部環境エネルギーセンター 環境学習室
- 4 参加人数 25名
- 5 出席議員 田中展郎議長、松村理治副議長、
秋島 太経済環境常任委員長、
長坂星児経済環境常任副委員長、
小間井大祐経済環境常任委員、久保洋子経済環境常任委員、
新村誠一経済環境常任委員、玉野 道経済環境常任委員、
田中 仁経済環境常任委員、
横越 徹経済環境常任委員兼議会運営委員長、
安達 前総務常任委員長、小林 誠市民福祉常任委員長、
下沢広伸建設企業常任委員長、
角野恵美子教育消防常任委員長、
その他オブザーバー議員
- 6 次 第 別紙のとおり
- 7 結果概要 以下のとおり

長坂星児経済環境常任副委員長の開会に引き続き、田中展郎議長の開会挨拶の後、新村誠一経済環境常任委員から平成26年度金沢市議会9月・10月議会報告を行い、秋島太経済環境常任委員長の進行により当該報告についての意見交換を行った。その後、久保洋子経済環境常任委員から意見交換会テーマ報告として「北陸新幹線開業に向けた金沢市の取り組み」について報告を行い、同様に意見交換を行った。引き続き、秋島太経済環境常任委員長の進行によりその他の事項に関する意見交換を行い、松村理治副議長の閉会挨拶の後、閉会した。

1. 開 会

【長坂星児経済環境常任副委員長】

皆さん、こんばんは。定刻となりましたので、ただいまより金沢市議会意見交換会を開催いたします。

私は、本日の司会進行を務めさせていただきます経済環境常任委員会副委員長の長坂星児です。ふなれな司会でありますけれども、よろしく願いをいたします。

2. 開会挨拶

【長坂星児経済環境常任副委員長】

開会に当たりまして金沢市議会議長の田中展郎から皆様方に御挨拶を申し上げます。

【田中展郎議長】

皆さん、こんばんは。市議会議長の田中でございます。

本日は金沢市議会意見交換会を開催させていただいたところ、大変寒い中、こうして多くの皆様にお集まりいただきまして、本当にどうもありがとうございます。

この意見交換会ではありますが、本年度より議会改革の一環として実施したもので、8月に第1回目を開催させていただきました。今回は2回目ということになります。この間、市長選挙などもあり、市政を取り巻く環境も変化しております。

去る10月定例会議会では、競輪場外車券売り場をめぐる問題について、地方自治法に基づく百条委員会を設置することを議決いたしました。この件につきましては、さまざまな御意見が寄せられておりまして、これまで議会としても全員協議会や連合審査会等々を実施しまして、そして市長初め関係者から説明を受けましたが、なお事実解明が必要であると判断されたものであります。皆様方の深い御理解をお願いできればと思っております。

もちろん、そうは言っても市政に停滞は許されません。市長の不在の間も含め、議会として必要な審議を行ってまいりました。そのこともこの後、皆さんに御報告をさせていただきたいと思っております。

いよいよ石川県民、そして金沢市民が待ちに待った北陸新幹線、3月14日に金沢にやってきました。本日は意見交換のテーマを「北陸新幹線開業に向けた金沢市の取り組み」として皆様の御意見をお伺いし、市政に反映できるものはしていきたいなど、そんなことで思っております。

お時間の許す限り、活発で建設的な意見交換ができればと思っております。時間ちょっと長いですが、また皆さんとともにいろんなことを考えていきたいと思っておりますので、よろしく願いして私からの御挨拶といたします。

きょうは本当にどうもありがとうございました。

【長坂星児経済環境常任副委員長】

ありがとうございました。

ここで、今回の意見交換会に出席している議員を紹介いたします。

皆さんから見て右側が、今回の意見交換会を担当しております経済環境常任委員会の委員でございます。

順に、秋島太委員長。

【秋島太経済環境常任委員長】

よろしくお願ひします。

【長坂星児経済環境常任副委員長】

新村誠一委員。

【新村誠一経済環境常任委員】

きょうはどうぞも御苦労さまでございます。

【長坂星児経済環境常任副委員長】

久保洋子委員。

【久保洋子経済環境常任委員】

皆さん、お疲れさまです。

【長坂星児経済環境常任副委員長】

田中仁委員。

【田中仁経済環境常任委員】

よろしくお願ひします。

【長坂星児経済環境常任副委員長】

横越徹委員。

【横越徹経済環境常任委員】

こんばんは。よろしくお願ひします。

【長坂星児経済環境常任副委員長】

玉野道委員。

【玉野道経済環境常任委員】

ありがとうございました。

【長坂星児経済環境常任副委員長】

小間井大祐委員。

【小間井大祐経済環境常任委員】

こんばんは。どうもありがとうございます。

【長坂星児経済環境常任副委員長】

なお、横越委員は、議会運営をつかさどる議会運営委員会の委員長も務めております。

次に、皆さんから見て左側の前列が議長、副議長でございます。

先ほど御挨拶をいたしました田中展郎議長。

【田中展郎議長】

よろしく申し上げます。

【長坂星児経済環境常任副委員長】

松村理治副議長。

【松村理治副議長】

よろしく申し上げます。

【長坂星児経済環境常任副委員長】

後ろの列ですが、金沢市議会には経済環境常任委員会を初め5つの常任委員会がありますが、残る4つの常任委員会の委員長が出席しております。

順に、安達前総務常任委員長。

【安達前総務常任委員長】

皆さん、こんばんは。

【長坂星児経済環境常任副委員長】

小林誠市民福祉常任委員長。

【小林誠市民福祉常任委員長】

よろしく申し上げます。

【長坂星児経済環境常任副委員長】

下沢広伸建設企業常任委員長。

【下沢広伸建設企業常任委員長】

下沢でございます。よろしくお願いいたします。

【長坂星児経済環境常任副委員長】

角野恵美子教育消防常任委員長。

【角野恵美子教育消防常任委員長】

よろしくお願いいたします。

【長坂星児経済環境常任副委員長】

また、今ほど御紹介しました経済環境常任委員会の委員及びほかの常任委員長以外の市議会議員については、オブザーバーとして参加しておりますので、あわせて御報告いたします。

次に、本日の意見交換会の進め方について御説明いたします。

受付で配付いたしました資料のうち、意見交換会という表題の資料をごらんください。こちらに次第を記しております。

次第の3になりますが、この後、議会報告としまして9月、10月の本会議の内容などにつきまして15分程度御報告いたしました後、その報告の内容に対しまして御意見を10分程度お受けしたいと思っております。

次に、次第の4の本日のテーマであります「北陸新幹線開業に向けた金沢市の取り組み」につきまして30分程度御報告しました後、同様に御意見をお受けいたします。

その後、次第の5のその他の事項に関する意見交換として10分程度を予定しておりますが、それにつきましては特にテーマを設けず御意見をお受けいたします。

なお、会場の都合もありますので、進行ぐあいによりましては発言を希望される方が多い場合など、途中で意見交換の時間を打ち切らせていただき、次の議事に移る場合もございますので、まことに申しわけございませんがあらかじめ御了承ください。

また、御発言をいただく際の注意事項として、あらかじめ3点お願いをいたします。まず、発言を希望する方は挙手をお願いいたします。指名を受けましたら、係員がマイクをお持ちしますので、お住まいの町名とお名前を御発言いただき、その後で御意見をお願いいたします。

また、今回は議会として開催している意見交換会ですので、議員の個人的な見解は述べないこととしておりますことを御了承願います。議員個人の考え方や意見を聞きたい場合には、意見交換会の終了後にそれぞれ議員に対して質問されるようお願いをいたします。

本日の議事の内容は、後日、金沢市議会のホームページにアップをいたします。皆様方からいただきます御意見につきましても、お住まいの町名、お名前とともに掲載させていただきますので、あらかじめ御了承をお願いいたします。

3. 平成26年度金沢市議会 9月・10月議会報告及び意見交換

【長坂星児経済環境常任副委員長】

それでは、報告に移ります。

まず、金沢市議会では今年度からほぼ1年間を会期とする通年議会を導入しておりますが、9月に緊急議会を、そして10月に定例月議会を開き、議案の審査などを行いましたので、その内容につきましてパワーポイントを使って御報告いたします。報告者は、経済環境常任委員会の新村委員です。

[新村誠一経済環境常任委員が平成26年度金沢市議会 9月・10月議会報告について別紙のとおり説明]

【長坂星児経済環境常任副委員長】

それでは、ただいまの報告に対する意見交換に移りたいと思いますが、意見交換の進行については秋島委員長にお願いをいたします。

【秋島太経済環境常任委員長】

経済環境常任委員会委員長の秋島でございます。きょうは寒い中、ありがとうございます。また、よろしくお願ひいたします。

それでは、ただいまより意見交換を行いたいと思います。あらかじめ議会報告に対しましては質問の時間を10分程度とさせていただきたいと思います。それでは、ただいまの議会報告に対しまして御意見がございましたら挙手をしていただきたいと思います。

【参加者】

寒い中でこんな格好で皆さん、恐縮です。失礼します。

緊急議会とそれから定例会議会、市長の姿勢というところについて詳しくお話が聞けなかったのでお尋ねします。山野市長が当選された後、平成23年に市長多選自粛条例というものをお出しになりました。そして、議会でそれが可決になって現在も生きているんだろうと思います。その中で、3期連続で市長の任につくことはしない、やらないというようなことが出ていたように思うんです。それで、この前当選されたあの当選はカウントはどうなるのか、これをひとつ教えていただきたいということと、生きているその条例は公布になったときより施行されるというふうに書いてありましたけれども、それはずっと時限立法みたいはどこかで切れるんじゃないかとずっと続いていると。それで、議会で改めてそれを廃案にするとか新しいものに取りかわるといことがなければ、山野市長のときだけでなくずっと続くのかどうか。この2点をひとつ教えていただきたいと思います。

【秋島太経済環境常任委員長】

それでは、初めの件ですけれども、この間の市長が辞任されて当選されましたけれども、任期は任期の1期ということになります。今月11月30日に行われる選挙で次当選された場合が2期というふうなカウントになります。

多選の条例が出された件ですけれども、これはあくまでも出された山野現市長に対しての条例になっておりますので、もし市長がかわりましたらそのかわった市長に関してはこれは関係ないということになります。

【他参加者】

それ、山野市長だけですか。

【秋島太経済環境常任委員長】

そうです。山野市長だけです。

【他参加者】

ずっと続くんかと思って。

【秋島太経済環境常任委員長】

山野市長だけということでの条例になっております。

【参加者】

カウントにならないということと、多選自粛条例というのは山野さんだけに適用される条例だと、こういうふうに市民は思っておればいいわけですね。

【秋島太経済環境常任委員長】

そういうことです。

【参加者】

わかりました。

【秋島太経済環境常任委員長】

ほかございますでしょうか。

【参加者】

百条委員会が開かれるということであったんですけど、これは市長だけの百条委員会ですか。というのは、そのほかに関係した議員4名ほどいらっしゃるんじゃないかと思うんですけども、その辺の関係も明らかにしないと一般市民の方は何も情報がつかめないんで、やっぱりその辺をはっきりしないといけないんじゃないですか。

【横越徹経済環境常任委員（競輪場外車券売り場設置問題に関する調査特別委員長）】

百条委員会の委員長を仰せつかっております横越です。

百条委員会の委員会が1回だけなされまして、あしたまた委員会をします。そのときにまた委員の意見を集約して、ここで言えるのは山野市長だけではございません。この場では、それだけ言っておきます。お答えします。あとの名前はここでは公表できないということで、またひとつよろしくお願ひします。

【参加者】

前回の意見交換会に引き続き2回目に参加させていただきました。ありがとうございます。

前回でお願いしたのは、忘れられそうになっているこの関連しますけれども百条委員会で、すっきりとした、市民の皆さんがわかるような結果を出していただきたいと。特に百条委員会という特殊な機関でございますので、特別な権限を持っていらっしゃいます。新幹線も来年やってまいります。金沢市民の名誉をかけて、金沢市議会の名誉をかけて、はっきりとすっきりした結果を求めたい。これをひとつお願いしておきたいと。また、3回目にも4回目にも参加しますので、ぜひ納得のいくような結果をお願いしたいなど。

申しわけございませんがもう1つ、教育消防常任委員長が御出席なので、こちらにちょっと「審議すべき議案なし」というふうにかかれてるので、先ほど新村委員も申されましたし、大雨、土砂災害、予測不能なことが最近非常に多く起きています。あるいは県内に原発を抱えています。どういうことで審議すべき議

案がないのか、一言お願いしたいなというふうに思いまして、お願いいたします。

【角野恵美子教育消防常任委員長】

教育消防委員会に付託がなかったんです、議案の中で。それで教育消防としては検討するものはありませんでした。

【参加者】

自分からもし、こういう問題ということとはできないわけですか。

【角野恵美子教育消防常任委員長】

それは委員会では幾らでもできますけれども、一応この場合でしたら付託を受けて、それに対して協議するのが常任委員会でございますので。

【参加者】

付託を全く受けなかったということでございますか。

【角野恵美子教育消防常任委員長】

はい。

【参加者】

それで、百条委員会のことへ戻りますけれども、私は大徳校下での陳情を一番最初に出されたときとか何度か議会の傍聴もさせていただいたんですが、そもそもその地域からの要望というのは1回もないものがこの場外車券場の問題として出てきたというふうに理解しております。ならば、このことは市政のあり方として一体どういうことなのかと。住民要望があって、それをやろうということでもめたというのならいざ知らず、そうではないというところの問題を、これはあした委員会開かれるのであれば、ぜひそこまでさかのぼって、そもそも意見交換会とかこういういいことも金沢市はされていらっしゃるわけですが、地元の要望というものをどういうふうに考えていらっしゃるのかというところまでさかのぼっていただきたいなというふうに思います。

【田中仁経済環境常任委員（競輪場外車券売り場設置問題に関する調査特別副委員長）】

この委員会の副委員長を仰せつかっております田中といたしますが、百条委員会を議会で可決をしたその内容は、1つは山野市長が判こを押したといわれる念書にかかわるものと、それから同意書にかかわるものの事実を明らかにしていくということが1つです。それから2つ目は、それに伴っていわゆる代替案といわれる――呼び方はいろいろありますけれどもリサイクルプラザ、そういうものの関係がどうなっているか。この2つの項目で百条委員会を開くということになっておりますので、今おっしゃったそもそもさかのぼってというような権限というのはこの百条委員会にありません。ただ、解明をしていかなければならないところでそういう問題がもし出てくるとすれば、それは付随してありますけれども、今おっしゃられるような課題で百条委員会を開いて対応していくということは私どもの役割として与えられておりませんので、もう一遍申し上げますけれども、判

こを押した念書というもの、それから市長になってから押された同意書の解明ですね。それと2つ目は、それに伴って代替案といわれているリサイクルセンターの関係の事実を明らかにしていくという役割を担わされておりますので、その課題で対応していくということを理解してください。

【秋島太経済環境常任委員長】

それでは、この件に関しましては時間になりますので、もしあれでしたら最後、もう1名ほどの質問がございましたら。

最後にまたその他の質問も時間設けますので、もしなければ次の議題のほうに入っていきたいと思っておりますので、よろしいですか。

4. 意見交換会テーマ報告

【長坂星児経済環境常任副委員長】

続きまして、本日の意見交換会のテーマであります「北陸新幹線開業に向けた金沢市の取り組み」につきまして、先ほどと同様にパワーポイントを使って御報告をいたします。報告が終了いたしましたら、このテーマに沿った意見交換を行いたいと思っておりますので、よろしく願いをいたします。報告者は、経済環境常任委員会の久保委員です。

[久保洋子経済環境常任委員が意見交換会テーマ報告について別紙のとおり説明]

ありがとうございました。

それでは続きまして、意見交換に入りますが、進行は先ほどと同様、秋島委員長をお願いをいたします。

【秋島太経済環境常任委員長】

それでは、ただいまの報告に対する意見交換を行いたいと思っておりますので、発言を希望される方は挙手をお願いいたします。

【参加者】

今ほどの説明の13ページになろうかと思うんですけども、金沢の食文化推進委員会、それからほかに市内連携組織として金沢の食文化推進本部を設置とあるわけなんですけど、食の安全という視点で一体どういうことを取られようとしているのか。これは3年前にえびすの食中毒事件で死者も出たと。えびすは廃業になってしまったと。非常に大きな問題なわけですけども、こういうことが今後起こってはならないと思うわけです。当然、新幹線開業で多くの方がみえるときに、食中毒を起こすとかいろいろ不安なことがあるということがあってはならないと思っておりますので、一体どういう対策をとられているのかちょっとお聞きしたいと思っております。

【小林誠市民福祉常任委員長】

今の御質問はそういった観光客の方々が金沢で食事をされる際に、数年前の焼肉えびすのような事件が今後あってはならないという御趣旨の御質問だと思いますけれども、当然おっしゃるとおりでございます。金沢市も金沢市として保健所というものを持ち合わせておりますので、保健所がきちんとした指導をしながらそういった食中毒に対して今後も対応していきたいと考えていますし、今いただいた御要望をしっかりと行政のほうにも届けていきたい……。

【参加者】

保健所が今ちゃんとしとらんからああいう事件が起きたわけで、それで足りればあんな問題は起きんわけですよ。事前にどういうチェックをするかということが非常に重要なわけなんで、というふうに思います。

【小林誠市民福祉常任委員長】

焼肉えびすの事件をきっかけに行政としてもこれまでの課題というものを洗い出しておりますので、そういったことも踏まえて、今後あのような事件等々がないように行政として対応していきたい、また議会としてもそういった声をきちんと届けていきたいと考えております。

【参加者】

こういう意見交換会ということで市民の話を聞いていただきましてありがとうございます。

きょう私ここへ来まして、市民の参加者がとても少ないというふうに思ったんですが、皆さんもそういうふうに思われたと思うんです。この参加が少ないというのは皆さんはどう思われるかということをもっとお聞きしたいんですけど、市民の関心がない、市民のほうが悪いというふうに思っはいませんかというふうに問いかけたいと思います。

今、市長初め議員さんが関与する全国的な問題が起きて、本当は市民がそういうことに対して関心を持ってこういう意見交換会に来なければいけない。しかし、こういった中で市民の参加が少ないということについては、市民の側の責任というよりも、やはりそういったことを説明する側のあり方というものがあっていいんじゃないかと。これちょっと前置きなんですけど。

新幹線の問題なんですけど、新幹線につきましては今ほど丁寧な御説明いただきましていいなと思って聞いていたんです。新幹線、大変多額な費用で建設された新幹線が、今、観光客が来て、頑張っている、観光客を誘客して金沢に人を寄せるといって頑張っている、頑張っているというふうには思いますが、やはり観光客というのは不安定要素で、ずっとこれから新幹線の減価償却というのは5年や10年ということじゃなくて30年、50年というふうには考えていかなきゃいけないスパンの話だと思うんです。その間で観光客という不安定要素のものに対して頼っていいのだろうかというのが片方であるんじゃないかと思うんです。

そういう意味では何にやっぱり依拠するかといいますと、きのうでしたか、ちょっと徳島の何かどういうふうに首都圏でPRしているかというようなNHKの番組を見ていたんですけど、首都圏と地方をどう考えるかというふうに考えながら、やはり地方は考えているというふうに言うんです。例えば、本当例えばなんですけど、高齢期になったら金沢に住みませんかという形での問いかけもいいかと思うんです。連休になると高速道路にすごいラッシュが起きるわけですね。あれの半分ぐらいはきっと里帰りだと思うんです。高速を使うか新幹線を使うか、自分のおじいちゃん、おばあちゃんが田舎にいれば新幹線で帰ってくる。じゃ、そのおじいちゃん、おばあちゃんを東京から呼べばいいわけですね。東京は物価が高くて住みにくいと。金沢は安いと。それは高齢者に限らず、例えばお隣の富山県では何とかインテリジェントハウスやったか、立山アルミか何かが町ぐるみで都会の若い人が住めるような団地をつくって新幹線で誘致をすることかという話を聞いたことあるんですけど、そういう発想とかもあっていいと思うんです。

首都圏と金沢を結んで、金沢と首都圏の人の往来を確保する。そうすると、5年や10年の観光客じゃなくて、本当にそこに子どもの代、孫の代まで、50年、100年と人が続くかもしれない。あわせてそれは金沢の底力といいますか基盤のレベルアップにもなるし、それから今、首都集中で人が集まっている問題についても金沢発でその問題を解決するといった提案もできるんじゃないかということも思います。そのためには金沢で何をすべきかという、やはり金沢のこの生活基盤の向上だと思うんです。それはやはり高齢者が住みやすい医療の問題、介護の問題、それから基本的な生活、住宅の問題、そういったものをやはり10年、20年、30年のスパンでどうするかと。変な言い方しますが、新幹線ばかりに金使っていていいのかということも片方で考えながら、東京から、きっと所得の低い人も来ると思うんです。そういう人たちも住みやすいような金沢をやはり地道につくって、金沢は住みやすいですよという形で人を集める、そういったことも必要ではないかというふうに思います。

それは私はやっぱり、初めに言いましたけど議員の皆さんってやっぱりそういう目線がなかなかできないんじゃないかと思うんです。本当にこういうふうな意見交換会で、あしたこのスーパーが安いかなって買い物してる人たちがここへ来て、議員の皆さんとこんな金沢が住みやすいですよという意見を交換して初めてそういうことができるんじゃないかと思うんです。私、議会へ時々行くので御存じの方もいるかと思うんですけど、私、議会に行くと、何をしているかわからないんです。本当に日程で、大体まず議会事務局にもちょっと嫌がられるような提案したんですけど……、長いですか、ごめんなさい。

【秋島太経済環境常任委員長】

論点がわからなくなってしまいますので。

【他参加者】

一、二分でまとめてや。何にも質問できなくなるよ、ほかの人が。

【参加者】

済みません。

ということで、市民が議会傍聴に行きやすいシステムをもう少し考えていただきたい。議会で何をしているか、次の議会何するか、市長が何を提案するか、こういったことを事前にもっとオープンに市民に知らせてほしい。私はそのデータが入っているパソコンを持ち込もうとしたら、パソコンは持ち込めない。印刷して持ってきてくださいと。そういったようなことにもなっているわけで、そういったような形で、市民と議会との風通しをよくしてほしい。こういう意見交換会もどんどん開いてほしいし、そういった情報を出してほしい。そういったことでございます。

【秋島太経済環境常任委員長】

それでは、大体大まかに3点だったと思います。1つは、今回の市民との意見交換会への参加者が少ないということであります。前は8月19日に開催させていただきましたしまして大体60名を超える方が参加していただきました。どこの議会でもこういう意見交換会をするにおいて、一番課題になっているのが参加していただく市民の皆さんがやはり少ないと。これをどうやって呼びかけようかということ今一生懸命やっているとも聞いております。金沢市議会もそういう議論が、この意見交換会をするに当たって一番の大きなところは参加していただける市民の皆さんがたくさん来ていただくように工夫を凝らしてやっていかなければいけないということもありまして、今、活性化推進会議というものがございまして、その中でいろいろと議論しております。1つは金沢市のホームページのほうに掲載することも行っておりますし、また金沢市のフェイスブックというそういうSNSを使ったところで情報発信をすることもしておりますし、また町会連合会のほうにもお願いしましてチラシの配布でありますとか、あとポスターを掲示していただくという形で今行っているところです。毎回する意見交換会にはたくさん来ていただけるように、これからも議会のほうで考えてやっていきたいと思っております。

2つ目の質問ですけれども、多分定住人口であるとか移住という部分の問題になるかなと思います。今、金沢市も北陸新幹線開業に向けて金澤ふうライフというそういった東京のほうからクリエイターの方に移住していただいて金沢市でも仕事できるようなそういう方を金沢市のほうに呼んでの取り組みを行っております。今月にも第2回目、去年やりましたけれども、ことしも5組10名の方をお呼びして、こちらに来ていただくように考えております。去年はちなみに3組中2組が金沢市に住居を構えたと聞いておりまして、少しずつ取り組みをしていきたいなど。ただ、北陸新幹線が百年に一度という一遇のチャンスであるということ

もありまして、要は1回はやっぱり金沢に来ていただいて、金沢を見て、金沢は本当にいいまちだなと、やっぱり金沢に例えば老後でも住みたい、また移住したいという方が一人でもふえてもらうように、今、交流人口をふやしていくということに力を入れておりまして、それが最終的にはやはり定住人口につながっていくという考えでやっております。たくさんの方が金沢に来ていただきまして、例えば金沢に泊まっていたり、また訪問していただいたり、そうなりますとやはり金沢でたくさんお金を落としていただければ金沢の活性化につながっていきますので、そういうことで金沢を活性化させて、またそういう中で教育とか福祉とか、そういう部分の環境問題も含めてそういうところのしっかり取り組みをまずやはり金沢の少しでも税収をふやしていくような形で、しっかりバランスのとれたいい市政をやっていくということを金沢市は考えております。

3つ目ですけれども、議会に来やすいようにということですかね。市長からも、例えば議会の議案内示というのが1週間前なんですよね。ですから、早い段階からはなかなかそういうものは出てこないということもありまして、ただ、議場の中ではやはり携帯電話とかパソコンとかは持ち込めないということになって、携帯は電源を切るか音が鳴らないようにという形をお願いしております、そこら辺、今後また活性化推進会議もありますからその中でもまた議論していかなければいけないかなと考えております。

よろしいでしょうか。

【参加者】

一言だけ。その資料なんですけど、マスコミとか議員は、上から見ていると資料をみんな持って、みんな見ているんですよね。あれを傍聴者に配るか、それから傍聴者が事前にダウンロードしてパソコンで見れるようなそういうシステムはいかがかと。結局、市民の人が来たらどうなるだろうかというのを予測してやはり傍聴者を迎えていただきたい。

以上です。これは意見です。今後検討をお願いします。

【秋島太経済環境常任委員長】

わかりました。ただいまの声を上げさせていただいて、検討課題に加えることにしたいと思います。

【参加者】

先ほどのこの説明を長々としていただきましたが、市の執行部のやる市政懇談会とどこが違うんですか。議会の皆さんがおやりになる、議会でもならこそというそういう意見交換会であってこそみんなが集ってくると思うんです。執行部の下請みたいようなことをおやりになっても、何やということに相なりはしませんでしょうか。なるほど議会ならではチェックがきいとるなど。私が行ってそんな意見を言っても、そっちに通じてくれるなど、こんなことがあってこそ皆さんお出ましになるんじゃないかと、私はそんなふうに思うんですが、いかがで

しょうか。

それから、先ほどの説明で私は何ができるかということ、私は来てくださる人になっことり笑ってこんにちはと言うことしかできません。そんなことを思うと、先日、市長選挙がありました。中央通りから長町の大野庄用水の一方通行の観光道路です。目玉の武家屋敷のせせらぎ通りと鞍月用水のちょうど大事なところ。あそこを市長選挙の行列が、車を連ねて、一方通行のところ、朝の8時半から、ちょうどそのころ観光客の人がたくさん来ていました。私、自転車ですととそばにおってそれが通り過ぎるのを待ってました。そしたら外国人の人が「あれは何だ」、それは英語で言っていらっしやるんで、私は何を言っているのかわかりませんでした、私は「I'm sorry」と言いました。市長の選挙の行列の選挙運動。選挙運動は民主主義で大事でしょうけど、そういう人がもてなしの心とか、新幹線が通ったらどうだとか、そんなことを言う資格がありますか。まず隗より始めよです。議員の皆さんみずからがそういう気持ちでもって新幹線を迎えるということが必要じゃないでしょうか。

以上です。

【田中展郎議長】

執行部と議会のとどう違うというような貴重な御意見ありがとうございます。

議会もことし初めてというようなことで、そんながでまたそういう御意見も聞きながら少しずつ改革していきたいなどは思っていますけど、議員は議員で議会報告ということで兼ねてやっています。議会であったことをこうしてきょうは皆さんに報告させていただきますので、執行部はどっちかということ予算等々の中身を皆さん、町会連合会等々に説明するんじゃないかなというふうに思っています。議会はあくまでも議会の中身を、どうしても先ほど言われたように来れない人もいますので、そんなのも来れない方のためにも議会の中身を報告したいということでやらさせていただきます。

それから、市長の選挙。それぞれの選挙もありますけど、今回の御意見も、私たちも選挙日になりますので、また気をつけて、できるだけ迷惑かからないようにやっているつもりなんですけど、それぞれの選挙日にはまた気をつけて選挙活動、運動をまたやらさせていただきます。

以上です。

【参加者】

さっきも誰かが言いましたけど、私もきょう2回目に出席させていただきますけれども、今、久保先生報告にあったことはこれを考えたのは市会議員の人たちで考えたのか、あるいは多くの人たちの意見を入れてこれだけの集約されたのかどっちかかなと私自身は思っんですけども、大半が食文化、食文化って言っていますけれども、それしか金沢にはないんですかね。私はそれを言いたい。というのは、加賀野菜とかいろいろ、冬はいろいろありますけれども、じゃ、夏の

加賀野菜あるいは秋の加賀野菜、そして皆さんが、ここの秋の食事がおいしかったとか、冬なら刺身とかいろいろあるでしょう。ですけど、そういうふうに食文化だけを旗を掲げるのはどうかと思うんです。

それともう1つ、これはちょっと遅いんですけど、実は私、何回か高山へ行きましたけれども、実は3年ほど前に女房と下呂温泉へ行って、電車で行ったんですけども、泊まる下呂温泉、次の次ですね、高山駅から。電車からほとんどおりにていくんです、高山に。じゃ、その高山というのは、例えば春と秋のそういうイベントがあるかといったら全然何も関係ないときにほとんどがおりにていくんです。それ見たときに、私は一つやっぱり思うことがあるんです。というのは、金沢も40万都市でそこそこの都市ですけども、高山はどれだけ人口があるかわかりませんが、高山には何の魅力があるのかなと、そういうふうに思うんです。というのは、高山市内は皆さん歩いてほとんど観光できるんです。一つ例を申しますと、金沢にはにしとひがしと両郭がありますけれども、にしとひがしの間は物すごく離れています。例えば、ひがしからにしへ行きたいなと思っても大変なことです。また、にしからひがしへ行きたいなと思ったら大変なことになる。ですから、もう一遍言います。高山の場合はあっちからこっち歩いて十分観光が楽しめますけれども、金沢の場合はそういうことで、実は私はせっかくにしに駐車場をつくってありますけど、ほとんど車がとまったのを見たことないです。1台か2台です。そういうことで果たしてもてなしができるかなと思って。これ私、一個人の話ですけども、もしそれだけ金沢をPRしたかったら、ひがしとにしの間に直通のバスを無料で走らせてもいいんじゃないかと。私、そういうことで自分の意見はそういうふうに思っております。

ですから、もう一遍言います。食べ物も結構ですけども、それ以外に考えてほしいということは、例えばですよ、奈良とか京都へ行きますと、必ずお寺とかお宮さんに桜の木があったり、あるいはまたもみじの木があったりして、それぞれの特色があります。ですけど、金沢のお寺は神社はここへ来てほしいというものは何かありますか。全然ないです。極論しますと、前田の殿様は桜が嫌いやったんだろうか、あるいはもみじが嫌い。もちろん兼六園にありますけど、そういうお寺とそういう関係がやっぱりなかったんかなと思うんです。まあそれは遅いですよね。これは桜の木あるいはもみじを植えるというのも。それは今さっき誰かおっしゃいましたけれども、10年、20年のことを考えたら今からでもやっぱりひとつそういうものを考えてもいいんじゃないかなと。

以上です。ありがとうございました。

【玉野道経済環境常任委員】

御意見ありがとうございます。

基本的には、反論するわけじゃないですけど、全国の地方の都市としても、高山の例、奈良の例出されましたけれども、金沢もそういう意味で地方都市として

はかなり個性的なまちづくりということで評価を受けているということも知っていただきたいなど。ただ、御指摘のあったものについては、やっぱりそういう感じる方がおいでるわけですから、善処して、議会も努力をしていかないかなというふうに思います。

もう1つ、新幹線で一番問題になっているのは2次交通、公共交通のあり方です。そういう意味では御指摘の部分もあります。現実にはふらっとバスもありますし、金沢は非戦災都市でございますので公共交通機関は必ずしも充実はされてません。そういう意味では金沢のまちも自転車で、御存じだと思ふんですけれどもそういう政策をやっていますので、御指摘の部分は御指摘の部分として、金沢の2次交通のあり方、そして非戦災都市という道路事情のあり方も含めて、自転車の利便性ということもわかってますので、そういうことを深い御理解をいただければ幸いかなというふうに思います。

そして、御指摘の部分は御指摘として議会としても受けとめて、委員会、本会議の中でもそういう市民の声に、負託に応えるように今後も施策を続けていきたいというふうに思いますので、本当にありがとうございます。

【秋島太経済環境常任委員長】

それでは最後の質問とさせていただきます。

【参加者】

金沢の食文化、僕、近江町市場のほうで働いておりますので、やはりそれはすばらしいものであると思ってやっておりますけれども、全体としてやっぱり観光客向けな感じにまちの雰囲気が変わってきまして、例えばお店でも割と市民向けな店がお土産屋さんみたいなふうにシフトしたりとか、結構まちの中心部がかなり観光客を意識したまちになっているなというのを僕は感じます。やっぱりまちなかの人口が少ないということで、週末は多いけれども平日は少ないということでいろいろ言われているんですけれども、ひょっとして物すごい勢いで人が来たら、本当に地元の魚が地元の人が食べられなくなるという、そういうような懸念も考えられると思うんです。そうなってきたら、定住人口をふやそうということで金沢に住もうというよりは、金沢は年に一回行くだけでいいわということになってしまいかねないということで、やっぱり市民の食のその辺のところというのも注視してほしいなというふうに思います。

あと、高岩議員のフェイスブックかホームページで見たんですけれども、やっぱり新幹線が来たときに、人口がどういう形態で動くかといういわゆる新しい人口渋滞が起こるだろうと。そのことについてもうちょっと、プロモーションするというのはすごく大事なんですけれども、その渋滞が起こったときにこれじゃ東京と一緒にだということになってしまわないようにきめ細かな施策が必要じゃないかということを感じました。やっぱり公共交通でいろいろな新しいプランもあると思うんですけど、やっぱり即効性があるというところで、僕はタクシーの利用

とかも呼びかけていったらいいかなというふうに思います。

食の文化もそうなんですけれども、あと先ほどクラフトが出たときに地元の加賀友禅が余り出てこなかったんですけど、僕、前々から思っているんですけど、やっぱり小京都と言われていた中で京都と対比されるんですけども、ぜひ加賀友禅を盛り上げるためにも着物を着ている人に対して、例えばワンコインでタクシー、中心部なら乗れるとか、そういうようなことがあってもいいんじゃないかなと思います。それはタクシー業界とかいろんな関連のところと詰めなくちゃいけないのかなと思うんですけども、雨、雪が金沢の特徴なら、ぱっと手を挙げてワンコインで移動できたら、着物の風情の人が集まってくると、まさに世界中の人がジャパニーズ、着物の、おいしい食べ物の金沢というところにどんどん来るんじゃないかというふうに思います。

以上です。

【玉野道経済環境常任委員】

御意見はわかるんですが、1つだけ確認をしたいんですけども、金沢は武家文化という形でまちづくりをしています。そういう意味では小京都というフレーズは……。

【参加者】

だめですか。

【玉野道経済環境常任委員】

だめとは言いませんけれども、そういう使い方はやめようと。加賀百万石、長町の話出ましたけれども武家文化という、そして食文化も武家文化という形。現実には先ほど答えませんでしたけれども、久保議員の説明の中に食文化が余りにも多過ぎるという話でありますけれども、冒頭、久保議員が説明したように、議会議案として提出したという、そういう意味では議会はきちっとそういう執行部の下請という表現もありましたけれども、そういうことじゃありませんよと。議会としては議会、議員という形できちっと条例をつくってというそういう視点があったもんですから、食文化が今回の報告は多くなったと、それは指摘あった部分については否定はしませんけれども、議会提案として提出した条例ですよと。議会がきちっとした食文化、そして御存じだと思いますけれども、いろんな宴会とかそういう集会があったときには、いわゆる日本酒で乾杯しましょうよと、そういうことも食文化の中でも根づいていきたいなど、そういう思いもあってどうしても多くなったという理解をしてほしい。

そしてもう1つは、いわゆる小京都という切り口がありますけれども、同じこと言いますけれども、武家文化という形で確実にまちづくりは京都と似たというよりも、京都と違った形のまちづくりをきちっとしていこうという思いも出ていますので、その辺のことも金沢市民の一人として理解をしていただければいいかなというふうに思います。

御指摘の部分は、先ほどから同じことを言いますけれども、せっかくのそういう市民との対話ですから、そして議会が初めてこういう形で出前講座の形でやっているわけですから、おいおい皆さんの意見を反映しながら、また市民の皆さんにも関心を持っていただいて自由闊達なそういう報告会ができれば幸いかなというふうに思いますので、議会も努力をしますので、ぜひよろしくお願いいたします。

5. その他の事項に関する意見交換

【参加者】

済みません。申しわけない。先ほどの山野さんの多選自粛条例ですけど、あれは本当に山野さんだけなんですか。金沢市の条例なんで、山野さんだけじゃなしに今後も引き継いでいくんじゃないんですか。

【秋島太経済環境常任委員長】

条例をつくったときに、今の市長が条例をみずから出したわけです。議会からじゃなくて、みずからが多選をしませんという条例になっておりますので、あくまでも今の山野市長……。

【参加者】

それは金沢市の条例でしょう。

【田中仁経済環境常任委員】

あのときに、条例つくったときに、その条例ができたときの市長、そのときに市長職にいた人が対象になっておるので、その条例は……。

【参加者】

私らはその辺が何にも情報がないからわからないんで、ちょっと説明してほしい。

【田中仁経済環境常任委員】

済みません。その条例はそういうことなんで、そのときに市長職にいた人が対象の条例なもんですから、それは自動的に3期12年になったら自動失効しますということの条例です。

【他参加者】

ここにコピーを持ってきましたけど、金沢市長の在任期間に関する条例を次のように定める。平成23年6月20日提出の金沢市長、山野之義。金沢市長の在任期間に関する条例。そして、さっきの言う3任期を超えて在任しない。ただし、「各任期における在任期間が4年に満たない場合も、これを1任期とする」、括弧書きでこんなことを書いてあったんで質問したんですが、その後に「市長の職の退職を申し出た者が当該退職の申立てがあったことにより告示された当該市長の選挙において当選人となり引き続き在任することとなる場合においては、当該選挙の直前及び直後の任期を合わせて1任期とみなして前項の規定を適用する」、こんな

ことでカウントしないということはちゃんと載っている。

ただし、この条例は、公布の日から施行する。山野さんの私の任期中に限りま
すというそんなのは、時限立法になっているものなんですか。

【参加者】

どこにそういうあれが書いてあるんですか。私もちょっと一遍確認してみたい
というふうに思います。

【他参加者】

これ、図書館でコピーしてきました。議案第3号。

【秋島太経済環境常任委員長】

基本的には、我々というか議会からその当時は市長に対しての多選のそういう
禁止するような条例というのは、基本的にはつくれないんですよ。それは、我々
議員でもそうですけれども、市長も何期しようが、長い人だと5期、6期されま
すので、それを制約するというのは基本的にはできない。ですから、みずからが
そうやって多選をしないということで、今回のその条例になったということであ
りますので。

済みません。議員のほうで1回修正しまして、そのときに附則として今の市長
のということで、それを附則でやりましたので、ですから山野市長が対象になる
ということです。

【他参加者】

山野さんの580提案議案のうち、修正になったのはこれとぼい捨て等防止条例、
2件だけ。あと全部可決。大政翼賛会じゃありませんか。

【秋島太経済環境常任委員長】

その話は前回されたと思いますけれども、基本的には各議員のほうから市長要
望とか議会での一般質問とか委員会での質問とか、そういうことを市のほうにし
たほうがある意味形として議案に上がってくるということにもなりますので、御
理解いただきたいと思います。

6. 閉会挨拶

【長坂星児経済環境常任副委員長】

それでは、閉会に当たりまして金沢市議会副議長の松村理治からお礼の御挨拶
を申し上げます。

【松村理治副議長】

皆様、本当にお疲れのところ、熱心な議論をいただきましてまことにありがと
うございます。

本日は遅い時間にお集まりいただき、また多くの御意見や御提言を頂戴いたし
ました。まことにありがとうございました。皆様方の御協力のもと、活発な意見
交換ができましたことを心よりうれしく思い、また感謝も申し上げます。

意見交換では、いただいた御意見、御提言に対しできる限り丁重に回答したつもりではございますが、お聞きになられた皆様には満足のいく回答ではなかったかもしれません。しかし、いただいた御意見を議員一人一人が真摯に受けとめ、その実現のための方策について議論を交わし、今後の政策、施策へ昇華させていく、この政策提言が議会の大きな役割の1つであると考えております。

議会でどのような議論が繰り広げられているか、引き続き御関心を持っていただきたいと思っておりますし、そのためこの意見交換会を初め、各御家庭にお配りいたしております金沢市議会だよりの見直しを進めるなど、市民の皆様への周知を今後より一層図ってまいりたいと考えております。今後とも忌憚のない御意見をお寄せいただき、市民の皆様とよりよい金沢市政をつくってまいりたい、このように思っております。

最後になりましたが、本日は足元の悪い中、御出席、御意見をいただきましたことを心から厚くお礼を申し上げまして、閉会の御挨拶にさせていただきます。

どうもありがとうございました。(拍手)

7. 閉 会

【長坂星児経済環境常任副委員長】

本日参加された皆様方におかれましてはまことにありがとうございました。

受け付けの際にアンケートを配布させていただいておりますが、御記入の上、お帰りの際に受付に提出をお願いいたしたいと存じます。

また、次回の意見交換会は11月22日土曜日の午後1時から、富樫3丁目の教育プラザ富樫におきまして子ども・子育て支援新制度をテーマに行います。

また、年明けの1月から2月にかけて、北部地区と東部地区の2カ所で開催を予定しておりますので、日程等が決まりましたらインターネットやチラシ、金沢市広報などでお知らせをいたします。御都合がございましたら、ぜひこちらにも足をお運びいただければと存じます。

それでは、これで意見交換会を終了いたします。

どうも本日はありがとうございました。(拍手)

以 上